

EUの「4つの自由」と英国

人・物・資本・サービスの移動の自由って何？

経済調査部

研究員 山口 茜

- ◆ EUでは基本理念として「人・物・資本・サービスの移動の自由」を掲げている
- ◆ 東欧諸国から英国への移民の急増により、EUの「人の移動の自由」に対する英国国民の反発感情が強まった
- ◆ EUの理念という切り口から今回の国民投票を見てみると、英国が欲しい「物・資本・サービスの移動の自由」と英国が制限したい「人の移動の自由」が天秤にかけられたとも言える
- ◆ Brexit決定後、他のEU加盟国首脳は「欧州単一市場への参入は、人の移動の自由を認める場合に限り可能」との声明を出している

人・物・資本・サービスの移動の自由とは

EUでは基本理念として「人・物・資本・サービスの移動の自由」を掲げています。これは、EU域内で人・物・資本・サービスが移動する時には、域内を1つの国のように扱い、国境を気にしなくて良いということです。これら4つの移動の自由を保障することで、EUの単一市場は成り立っています。まずは、それぞれの詳細を見てみましょう。

①人の移動の自由

EU加盟国の国民は、EU域内であれば、住む場所や働く場所を自由に選択することができます。その際、労働条件等に関して、他の加盟国出身の労働者を差別することは禁止されています。さらに、EU加盟国の国民は他の加盟国で社会保障を受けることもできます。このことから、所得水準の低い東欧のEU加盟国から所得水準の高い英国などの加盟国に移り住む移民が増加していることは、これまでの連載で述べてきた通りです。

②物の移動の自由

EUの前身であるECは「関税同盟」を基礎に設立されました。関税同盟とは、簡単に言うと「貿易の時は加盟国を1つの国のように扱おう」ということです。具体的には、域内では関税を撤廃し、域外に対しては共通の関税率を設定します。EUもこの流れを汲み、「物の移動の自由」を定めています。EUでは加盟国間の貿易に関税が課されず、また、他のEU加盟国からの輸入に数

量制限を設けることも禁止されています。

③資本の移動の自由

EUでは、「資本の移動の自由」も保障されています。資本とは、簡単に言うと「お金」のことです。EUでは、他の加盟国への貨幣の持ち出しや送金、投資に制限を設けることが禁止されていて、お金の移動を自由に行うことができます。

④サービスの移動の自由

EUでは、加盟国の国民が域内で、自由に経済活動を行うことが保障されています。「サービス」というとなかなかイメージしにくいですが、具体的には、ドイツで免許を取得した医師が英国で開業することや、英国国民がフランスの弁護士に相談することが自由にできるということです。また、この自由は金融サービスにも適用されます。加盟国のどこか1か国で免許を取得した金融業者は、EU全域で活動ができるという単一パスポート制度はその象徴です（詳細は次回）。

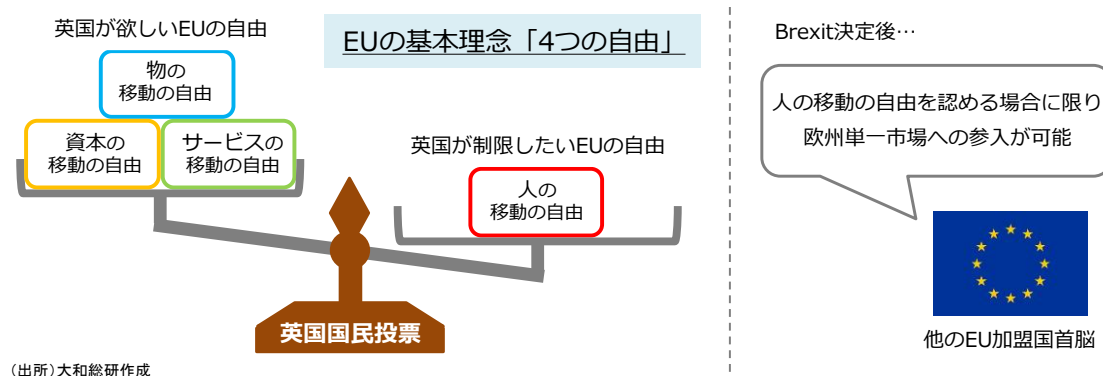
英国が欲しい自由と制限したい自由

これまで英国はEUの理念に賛同し、単一市場を活用しながら経済を発展させてきました。しかし、2004年以降、東欧諸国から英国への移民が急増すると、EUの「人の移動の自由」に対する英国国民の反発感情が強まります。

EUの理念という切り口から今回の国民投票を見てみると、英国が欲しい「物・資本・サービスの移動の自由」と英国が制限したい「人の移動の自由」が天秤にかけられたとも言えるのではないのでしょうか。

英国としては、人の移動を制限しつつ、物・資本・サービスの移動が自由な欧州単一市場に参加するのが理想ですが、他のEU加盟国としては、そのような英国のわがまを認めるわけにはいきません。実際に、Brexitが決定した後、英国を除くEU加盟国首脳は「欧州単一市場への参入は、人の移動の自由を認める場合に限り可能」との声明を出しています。

英国はEU離脱後、他国とどのような通商関係を築いていくのでしょうか。今後注目です。



(次回予告：単一パスポート制度と英国の金融業)